

愛媛支部

「ろう者と学ぶ学習会」

ひめ通研では、医療・介護、健康対策などの学習会を開催し、さまざまな面から手話や聞こえない方の暮らしについて考える機会作りをしています。7月の豪雨災害は、愛媛で暮らす私たちにとって忘れることのできないものとなりました。それをふまえて10月20日、宇和島市での学習会に被災地域のろう者の方を講師としてお招きし、当時の様子やそのときの思いなどを伺いました。同じ県内とはいえ、被害の少なかった地域では、実際の様子を詳しく知る機会はなかなかありません。また、非常時に「聞こえない」ということがどう影響するのか、想像だけではわからないことがたくさんあります。そのような点で、この講演は大変貴重な機会となりました。

他にも、手話学習者とろう者が一緒にゲームをしたり、ワークショップを行ったりして、楽しみながら学習を深めました。「普段の活動ではろうの方と接する機会が少ないので、交流できてよかった」、「学習会をきっかけに通研に入会した」という方もいて、学習会は仲間作りの場となっています。



香・通・研 なるほど講座 開催

香川支部

12月2日(日)高松市総合福祉会館にて、恒例の『なるほど講座』を開催しました。18名の方が参加され、午前の部では通訳者班による「みんなが知ってる昔話～Happy endその後は?～」そして、午後からは、全通研理事の米野規子氏をお迎えし「手話との出会い、そして今」のテーマでご講演いただきました。

午前中の内容を一部ご紹介すると、だれもがよく知っている昔話にオリジナルの続編を各グループで考え、手話で発表しました。どのグループも斬新で、思わず笑ってしまうストーリーですが、なぜかきれいにまとまっていた。休憩時間を利用して、健康対策班による軽いストレッチで体をほぐし、大変リラックスしました。

午後からの講演は、米野氏のお人柄があらわれた優しく、分かりやすい内容で、手話との出会いから現在に至るまでのことや、明石市の状況も知ることができ大変勉強になりました。



あさいと 結社

NGS とさ の集い開催

9月9日。聴覚障害者協会青年部との合同企画「仲間と共に」学習会。同協会の事務局長樋口徳明氏をアドバイザーに、大雨にも負けず8名若い仲間の参加がありました。

樋口氏から、青年部活動の3本柱「仲間づくり 学習づくり 要求づくり」を学び運動の歴史を知るとともに、若い世代が少ないこと、また活動に興味や関心を持つ人が少ないことなど、お互いに組織として共通の課題を確認しました。「私たちは決して一人ではない。いろんなことに挑戦してほしい」そのために協会・とさ通研・手話サークルの仲間と共に前進していきたい。そして自分の暮らしを見つめる力と知識をもつこと。互いに相手を尊重し理解し協力しあうことが大切であると熱く語って頂きました。

この力を明日の高知に。そして四国へと広げていけることを信じて。みなさん、継続は力なりです。つないだ手は熱くそして強い。

高知支部



東組織部発表会 ～手話語り『傾城阿波の鳴門』～

11月23日(祝・金)「第26回手話まつり」が交流プラザで行われました。昨年度より、東組織部の活動の1つとして、手話語りでの人形浄瑠璃を聞こえない人にも楽しんでもらうために月一回集まり練習をしてきておりました。4月の総会で初めてお披露目をしましたが、目標は「手話まつり」。本番までに練習を重ね成果を発表することができました。忙しさを十分な練習ができない中でしたが、東組織部としては満足のいくものだったようです。最終目標は、本物の人形との公演です。いまは、県内の人形浄瑠璃を行っている座とのコラボを模索し、さらなる夢を膨らませています。徳島の伝統芸能を手話で伝える活動は、東京オリパラに向けても意義のある活動として、徳島県に観光に来られる方々にも見てもらえるよう頑張ってもらいたいと期待をしております。



徳島支部